

- 最新事情 緩和医療（中面） ● 着任ごあいさつ・北部病院からのお知らせ（裏面）

皮膚科

最新事情



診療科長・教授
わたなべ ひであき
渡辺 秀晃

皮膚科は、皮膚科医6名の体制で診療しております。当科では、アトピー性皮膚炎、乾癬、蕁麻疹、湿疹皮膚炎群、蕁麻疹、真菌症、带状疱疹・蜂窩織炎などのウイルス・細菌感染症、水疱症、皮膚腫瘍など皮膚科全般の疾患を診療しています。外来は、平日は午前11時に初診1名再診2名の医師で、土曜日は午前11時に医師2名で初診と再診の患者を診察しています。本年度よりエキシマライトを導入し、アトピー性皮膚炎

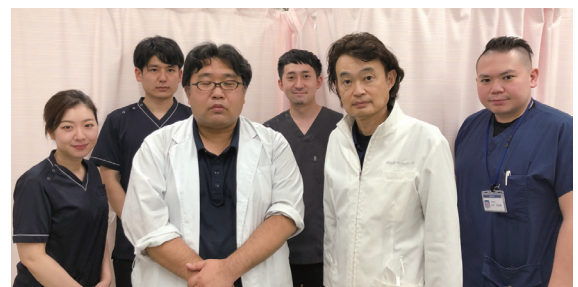
や乾癬、類乾癬、円形脱毛症、悪性リンパ腫などの保険適応となっている疾患に対応いたします。

2022年4月より診療科長・教授として、渡辺秀晃が着任致しました。カナダ トロント大学やアメリカ ジョンス・ホプキンス大学への留学経験もあり、これまで通りあらゆる皮膚疾患に対応しますが、今後は専門としている

- ① 重症を含む蕁麻疹・多形紅斑・中毒疹などの積極的な受け入れ
- ② アトピー性皮膚炎や乾癬の生物学的製剤の導入
- ③ 手術室を用いた皮膚外科手術

に特に注力いたします。重症蕁麻疹の受け入れは二次救急拠点病院Aの指定を受けている横浜市北部病院ならではの特色としていきたいと思っております。アトピー性皮膚炎や乾癬の生物学的製剤導入後のフォローはご紹介頂いた先生方をお願いする、二人主治医制度に力を注いでいきます。手術室を用いた皮膚外科手術で「安心・安全・綺麗」な環境での手術を患者様に提供致します。

入院に関しましては、蜂窩織炎や带状疱疹などの感染症、天疱瘡や類天疱瘡などの水疱症、スティーヴンス・ジョンソン症候群や中毒性表皮壊死症などの重症な皮膚疾患の入院治療を行います。



皮膚科スタッフ

前列右：渡辺 秀晃 教授、前列左：保坂 浩臣 准教授
後列左から、五味 由梨佳 助教、境井 尚大 助教、
青木 道 助教、山口 文太郎 助教

地域医療機関のみなさまへ

クリニックや皮膚科医の常住していない病院の先生方には、重症の皮膚疾患をご紹介いただければと思います。当院での治療が終了され落ち着いた患者様には、ご紹介元での加療（逆紹介）を積極的にお願ひさせていただきます。引き続きよろしくお願ひいたします。

緩和医療

最新事情



緩和医療科
講師
まついし じゅん
松石 純

緩和ケアセンター長
特任教授
おかもと けんいちろう
岡本 健一郎

緩和医療科診療科長
准教授
にしきど おさむ
西木戸 修

2022年4月から新体制となり、3人体制となったことでより充実した診療を行っています。

緩和ケアセンター

緩和ケアセンターは2019年にセンター化され、緩和医療チーム、緩和医療外来、がん看護外来と緩和ケア病棟の管理運営を行い、がんと診断された時から患者さんとそのご家族の苦痛緩和に当たっています。

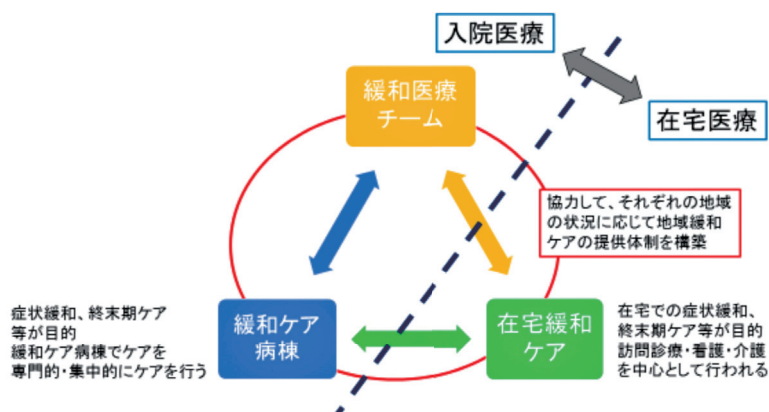
緩和ケア病棟

緩和ケア病棟はがん患者さんを対象に様々な苦痛症状（がん疼痛、呼吸困難、悪心・嘔吐、せん妄など）を全人的苦痛の観点でとらえ、薬物療法やケアを中心に症状緩和を行い、そして療養環境の調整を行い、退院を目指しています。

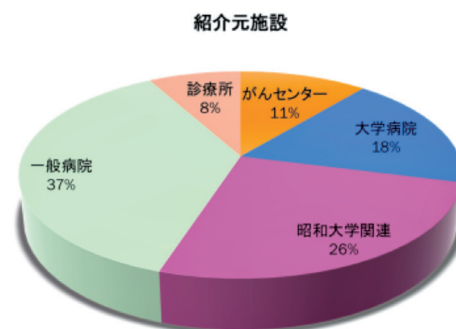
緩和ケア病棟では、緩和医療科が主に主治医となりますが、各診療科（呼吸器センター、消化器センター、内科、産婦人科など）や専門チーム（口腔ケアチーム、リエゾンチーム、褥瘡チーム、がんリハビリテーションなど）とも積極的にスムーズな連携をとることで苦痛症状の緩和をおこないます。院内からだけでなく、他の病院、がんセンター、診療所から、広く首都圏内在住の患者さんを受け入れており、積極的に自宅や施設への退院の調整を行っています。

2020年35人、2021年33人が、苦痛症状が緩和され、自宅・施設へ退院となりました。

地域緩和ケアの提供体制



当院緩和ケア病棟入院患者の紹介元施設



●新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 流行期における緩和ケア病棟



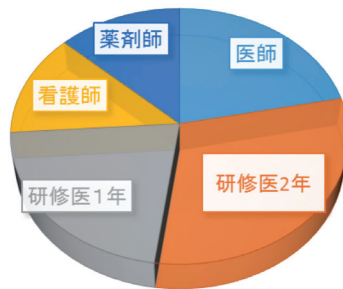
感染対策を行いながら、診療・ケアを行っています。入院患者と家族の面談も一定の基準をもとに直接面会できる体制をとっております。感染状況を踏まえ、規制するのではなく、出来ることを模索して運営を行っています。

また、「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 流行期における臨終に向き合う家族の心理的負担に関する横断研究」を行っています。(昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認; 22-013-B)

●横浜市北部緩和ケア研修会「昭和大学横浜市北部病院 がん診療等に携わる医師及び医療従事者に対する緩和ケア研修会」

毎年、6月・11月に定員24名の参加者と共に、緩和医療に関する基礎知識を習得して頂いております。感染対策を行い、対面での研修です。事例検討(多職種によるグループワーク)や緩和ケアに関するコミュニケーション技術(ロールプレイング)を行っています。地域の医療従事者(医師・看護師・薬剤師)の受講も受け付けております。是非、参加をご検討ください。

緩和ケア研修会参加者



●緩和医療チーム



緩和医療チームは、緩和医療科医師・メンタルケアセンター医師・専従看護師・専任薬剤師・管理栄養士・公認心理士・メディカルソーシャルワーカーで構成されています。一般病棟での緩和に関する支援や外来通院患者さんに対する症状コントロール等を担当しています。

●緩和ケア病棟入院判定外来

緩和ケア病棟へ入院するためには、入院前に「緩和ケア病棟入院判定外来」を受診していただく必要があります。受診の手続きをご説明します。

1 現在の医療機関から紹介状を作成して頂きます。

※紹介状は、当院ホームページのトップページの「専門外来」内の「緩和ケア病棟入院判定外来」にある「緩和ケア外来診療情報提供書」をご使用ください。

2 紹介状を地域医療連携室あてにFAX(045-949-7137)送信の上、地域医療連携室(045-949-7151:直通)へお電話ください。緩和ケア病棟入院判定外来の予約をお取りいたします。

※予約状況は、ホームページのトップページ「NEWS/INFORMATION」の「緩和判定外来予約状況」をご参照ください。

緩和ケア外来(予約制) ※ご家族のみの受診でも構いません

- 月曜日、水曜日、金曜日 : 午後1時30分～、3枠
- 火曜日、木曜日 : 午後1時45分～、1枠

緩和医療における地域との病診連携や病病連携を推し進めております。相談等ありましたら遠慮なくご連絡をください。

着任ごあいさつ

歯科・歯科口腔外科

診療責任者・講師

やすだ ありさ
安田 有沙



地域の医療機関関係者の皆様におかれましては、平素より当院の地域連携業務にご協力をいただき、感謝しております。2022年4月1日より歯科・歯科口腔外科の診療責任者を拝命いたしました安田有沙と申します。

歯科口腔外科とは、虫歯や歯周病の治療を除く口腔領域の外科処置を中心とした病気を診療する科であり、疾患によっては、歯科麻酔科と一緒に入院管理や全身麻酔下での手術を行います。また、様々なご病気のある患者さんに対しても、全身状態を考慮した処置を行っております。

当院で手術を受ける予定の患者さんに対しては、誤嚥性肺炎や術後感染を予防するために、手術前日から当科にて口腔内環境改善を目的とした診察、治療や口腔ケアを行います。退院後にはかかりつけ歯科の先生へお手紙を作成し、継続的なお口のメンテナンスや歯科治療を依頼することで、地域開業医の先生との連携を密にして診療を行ってまいります。

当科では、地域の先生方の多様な要請にこたえ、適切な診断・治療を行うことで、患者さんに安心・安全な医療を提供したいと考えております。初診患者さんの診察は原則として完全予約制をとらせていただいておりますが、緊急を要する患者様に関しては当院地域連携室(045-949-7151)へ直接ご連絡いただけたらと思います。何かご相談などありましたらご連絡いただけましたら幸いです。よろしくお願いいたします。

北部病院からのお知らせ

1 月曜日祝日(国民の祝日にあたる月曜日)の対応

2022年		曜日	休日名	対応
7月	18日	月	海の日	※救急対応を原則とし、救急、初診、紹介、並びに通院中の方で状態変化による臨時再診をお受けします。
9月	19日	月	敬老の日	※紹介状がない場合は選定療養費(8,800円)が別途発生いたします。

※10月10日(スポーツの日)及び来年1月9日(成人の日)も同様の対応となります。

2 連携医登録証を順次更新します

当院では、地域の医療機関との連携強化のため、平成26年4月1日から「地域連携医療協力機関制度」を導入し、連携医の皆様へ「連携医登録証」をお送りしています。

このほど、登録証の発行から時間が経過している連携医の皆様へ、順次、新しい登録証をお送りさせていただくことといたしました。院内でご活用いただけましたら、幸いです。

引き続き、当院へのご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問合先：地域医療連携室 TEL 949-7000(代表)